

2022年度分

学校関係者評価報告書

評価対象期間 自：2022年4月 1日

至：2023年3月31日

都築教育学園

鹿児島第一医療リハビリ専門学校

目 次

1. 目 的	2
2. 評価項目	2
3. 評価組織	2
4. 実施の概要	2～3
5. 細部実施事項	3～4
6. 評価結果	4～5
7. 総 括	6

別 紙「学校関係者評価アンケート結果」

1 目的

次の目的をもって学校関係者評価を実施した。

- (1) 学校運営について評価して頂き、今後の改善を図る上での意見を頂く。
- (2) 学校としての説明責任を果たし、学校運営に関する理解と協力を得て、より良い学校づくりを進める。
- (3) 頂いた評価を下に改善措置を講じることにより、教育の質の向上を図る。

2 評価項目

次の項目について、関係法令等に基づき法規・適正に効率的に行われ、所望の効果をj得ているかを評価して頂いた。

- (1) 学校運営
- (2) 教育活動
- (3) 教育成果
- (4) 学生支援
- (5) 学習環境
- (6) 募集広報
- (7) 学校評価
- (8) 情報公開

3 評価組織

- (1) 評価委員（個人名は略）

ア 委員長：学校後援会会長（はり・きゅう学科 保護者）

イ 委員：理学療法学科 保護者
作業療法学科 保護者
言語聴覚学科 保護者
柔道整復学科 保護者
はり・きゅう学科 保護者

- (2) 学校教職員

ア 校長、教学部長、各学科長及び各学科教員

イ 事務局：事務長以下、事務職

4 実施の概要

- (1) 実施時期・場所

2023年5月1日（月） 鹿児島第一医療リハビリ専門学校

- (2) 実施事項

ア 全般説明

イ 自己評価報告書

ウ 各学科の公開授業

- エ 教育施設・設備及び教育研究機器類の確認
- オ 評価アンケートの記入
- カ 各評価委員による意見交換
- キ 食事・懇談

5 細部実施事項

(1) 全般説明

次の事項について、学校の現況、取り組みなどについて説明を行った。

1. 学校運営
 - ①運営方針・事業計画
 - ②学校組織図
 - ③業務運営の改善
2. 学生支援
 - ①学生相談への対応
 - ②学生への経済的支援
 - ③学生の健康管理
3. 学習環境
 - ①施設・設備の整備
 - ②学外を含めた実習環境
 - ③安全管理に関する措置
4. 募集広報
 - ①学生募集・広報
 - ②入学選考
5. 学校評価
 - ①自己点検・自己評価の実施
6. 情報公開
 - ①情報公開の方法
7. 教育活動
 - ①各学科の在籍報告
 - ②各学科の教育目標
 - ③カリキュラムの体系
 - ④進級ならびに卒業基準
 - ⑤個々の学生に応じた教育・指導
 - ⑥各学科の学生支援
8. 教育成果
 - ①求人件数・就職率の推移
 - ②国家試験合格率
 - ③退学・在籍者数の推移

④卒業生のフォロー

(2) 各学科の公開授業

次のとおり、各学科長等の随行・説明の下に各学科の授業を評価委員に公開し、カリキュラムに基づく教育の実施状況、特に、教育内容、教育要領（教育型式・方法等）、教員の資質・能力等について評価して頂いた。

- ア 理学療法学科：1～3学年の授業収録動画（1～3年）
- イ 作業療法学科：国家試験対策収録動画（3年）
- ウ 言語聴覚学科：言語聴覚診断学Ⅱ（3年）
- エ 柔道整復学科：臨床実習（2年）
- オ はり・きゅう学科：東洋医学臨床論Ⅰ（2年）

(3) 教育施設・設備及び教育研究用機器の確認（実視）

次のとおり、学科長の随行・説明の下に各学科の主要な教育施設・設備及び主要な教育研究用機器類を評価して頂いた。

- ア 理学療法学科：機能訓練室、基礎医学実習室、水治室、装具加工室 731教室
- イ 作業療法学科：日常動作訓練室、手工芸室、732教室
- ウ 言語聴覚学科：聴力検査室、観察室・訓練室、753教室
- エ 柔道整復学科：柔整実技実習室、付属整骨院、付属柔道場
- オ はり・きゅう学科：はり・きゅう実技実習室、付属鍼灸院、742教室

(4) 評価アンケートの記入

学校運営に係わる各評価項目（8区分・24項目）に対し三択方式（「なされている。」、「改善すべきところがある」又は「わからない」の三択）によるアンケートを実施するとともに、改善意見・要望等の自由意見を記入して頂いた。

(5) 各評価委員による意見交換

評価結果及び学校関係者評価の実施に関する所見について、各評価委員から所見を開陳して頂いた。

(6) 懇談

学科ごとの懇談形式により、当該学科担当の評価委員と学科長及び教員との間で、学校運営や学生教育について情報交換・意見交換を行った。

6 評価結果

(1) 学校運営

「運営方針・事業計画等は策定されているか」「運営組織等は組織され機能しているか」及び「学生本位の業務運営はなされているか」の全項目に対し、「なされている」との評価を頂いた。

(2) 教育活動

「各学科の課程編成（クラスの定員）はまもられているか」「各学科ごと到達可能な教育目標は確立されているか」「カリキュラムは体系的に編成されているか」「授業評価、公開授業等による教育の質の向上に努めているか」「科目に応じた教員を確保しているか、またその能力・資質は適切か。」の全項目について「なされている」との評価を頂いた。

(3) 教育成果

「就職率の向上は図られているか」「資格取得率の向上（国家試験対策等）は図られているか」「留年・退学者の抑制のための努力はなされているか」「卒業後のフォローはなされているか」の全項目については「なされている」という評価を頂いた。

(4) 学生支援

「学生相談への対応はなされているか」において「改善すべきところがある」「学生の健康管理について措置はなされているか」において「わからない」という意見を頂いた。今後改善が必要である。

(5) 学習環境

「施設・設備は教育に対応できるよう整備されているか」において「改善すべきところがある」という意見を頂いた。

(6) 募集広報

「学生募集は適切に行われているか」において「改善すべきところがある」。「入学選考は適切に行われているか。」において「分からない」という意見を頂いた。今後、説明をしっかりとっていく必要がある。

(7) 学校評価

「自己評価・自己点検は適切に実施されているか」の項目に対し、「適切になされている」との評価を頂いた。

(8) 情報公開

「必要な情報の適時、提供できているか」の項目に対し「わからない」との評価を頂いた。

(9) 自由意見

ア 授業を見学したところ、教科書やノートを広げていたが、机がやや狭く窮屈にしている印象を受けました。

イ オープンキャンパスのオンライン実施はありますか。

ウ 現在、学生のサークル活動はどのようになっていますか。

(10) 別紙「2022年度学校関係者評価アンケート結果」

7 総括

- (1) 実施事項・内容及びその要領等を含め評価の取り組み自体については、全ての評価委員から高い評価を頂いた。本校としても、学生教育をはじめとする学校運営全般について、学校関係者への説明責任を果たすとともに、これら関係者のご理解とご協力を得る貴重な機会となったことは大変有意義であった。
- (2) 評価項目の殆どに肯定的な評価を頂いたが、【教育活動】の「個々の学生に応じた教育・指導について」成績下位の学生に対する指導について、次年度から改善を要す必要がある。
- (3) 次年度の学校関係者評価においては、今回の実施内容・要領を踏まえ、学校の現況や新たな取り組みについてより理解を深めて頂くとともに、幅広く貴重な意見等を頂けるよう、引き続き改善を図っていく。